

「YouTube が見せる可能性」

細江美月・渡沼希・青木麟平

中野区上高田の住宅街に建つごく普通の一軒家。通されたのはたくさんの風変わりな小道具が置かれたリビングルームだった。ここは日本の人気 YouTuber、MEGWIN (36) の自宅兼動画を生み出す仕事場である。彼は株式会社 MEGWIN TV の代表であり、MEGWIN 軍団と呼ばれるスタッフとともにコメディ動画を生み出している。「ワニの虫歯治療」「一言も喋らずにピザを注文する方法」などの動画は時に数百万の視聴数を獲得する。

2005年に設立された YouTube は、誰でも、いつでも簡単に動画を投稿しシェアできるウェブサイトとして発展を続けてきた。YouTuber とは YouTube に動画を投稿する人の総称であり、その中には動画の広告料だけで生計を立てる人もいる。世界中の人に見てもらえるインターネット上のツールであるがゆえ、その可能性は無限大とも言える YouTube だが、MEGWIN は日本の YouTuber のコンテンツはなかなか世界に広がらない、と話す。言語の壁により視聴者が日本語の話者に限られてしまっているためだ。

MEGWIN は 2012 年にロンドンで開催された世界各国の YouTuber が集まるイベントに参加した。その際、英語が話せなかったため外国の YouTuber とコネクションを作る機会を逃してしまった、と振り返る。「結局英語が話せないと、これ以上進化できない。」

MEGWIN は英語を習得するためスタッフとアメリカに YouTube 留学を試みた。そこで彼は英語の勉強だけでなく、アメリカの YouTuber とのコラボレーションも行った。MEGWIN は「日本とアメリカでは YouTube の盛り上がりには差がある」と話す。アメリカの YouTuber はチームを組んで活動するため、1つの動画に関わる人間が多い。映像加工や編集技術に優れたスタッフとアイデアを出し合うことでバラエティに富んだ動画を制作する。一方、日本では個人で活動する YouTuber が多く、高度な映像加工や編集技術を必要としないゲーム実況や商品紹介といった動画が主流である。

しかし、日本独自の文化やトレンドを紹介する動画は外国人が興味を持ちやすく反響も大きい。例えば日本料理の作り方を英語の字幕付きで紹介している動画は多くの外国人が視聴しており、動画のコメント欄には海外からのコメントが数多く届いている。

日本の文化を世界に発信し、また同時に世界の文化を知るためには「言語」が鍵となる。英語をはじめとする言語を学ぶことで自身の可能性が広がっていく。YouTuber の取材を通して見えてきたのは、国際化に適応するための努力とその重要

性であった。

【編集後記】

今回、YouTuber の MEGWIN さんを取材してみて、自分の仕事に熱意をもち常に新しいものを追い求める姿勢というものを学びました。取材を通していく上で MEGWIN さんの仕事に対する熱意を随所に感じることができ、また先を見据えながら一言ひとことを丁寧に話す姿が印象的でした。私自身、熱意をもって仕事に取り組むことの大切さを改めて教えられたような気がします。

青木麟平

今回は取材、打ち合わせ、記事作成と初めてのことで大変ながらも面白く作業を進めることができました。自分の文章力の無さには軽く絶望しましたが、みんなまで何度も推敲を重ねるうちに実際にどんどん文章が読みやすくなっていくのには感動しました。取材は YouTuber の MEGWIN さんに受けていただいたのですが、至らない点多数であったにも関わらずとても親切で、最高の初取材だったと思います。この経験を次に活かしていけるようにしたいです。

渡沼希

1人暮らしを始めてから YouTube を見るが多くなりました。1つ動画から他の関連動画へ際限なく繋がっていく YouTube は正にインターネットという大きな情報網を体現しているように思います。MEGWIN さんの新たな可能性を追求する姿は刺激的で、YouTuber は夢のある職業だと感じました。初めてのエディターは慣れないことの連続で反省する点も多々ありましたが、班員との共同作業で記事を完成することができて満足です。

細江美月